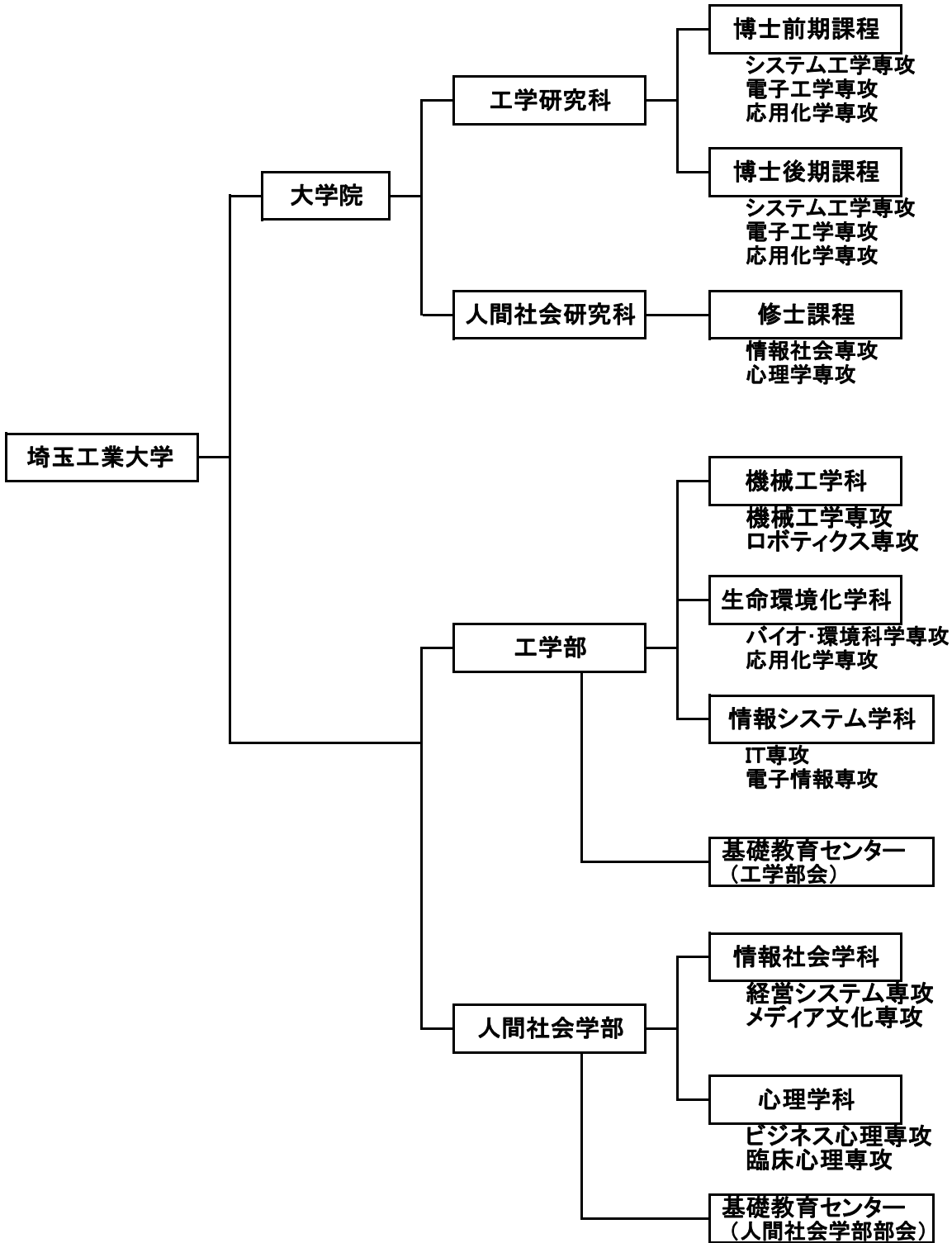


(1)学部, 学科, 課程, 研究科, 専攻ごとの名称及び教育研究上の目的

1. 学部・学科・研究科等の構成(平成28年5月1日現在)



\*情報システム学科の電子情報専攻は、平成29年度より電気電子情報専攻に変更予定です。

## 2. 教育研究上の目的(学部)

### 【工学部の目的】

一般共通科目(一般教養科目及び外国語科目)、共通基礎科目(数学系科目及び理学系科目)、及び機械工学、生命環境化学、情報システム学の各専門分野に関する教育・研究を通して、自ら学び、自ら考える習慣を身につけさせ、人間性が豊かなだけでなく倫理観をも兼ね備え、より良い社会の実現に貢献できる技術者の養成を目的とする。

### 【機械工学科の目的】

学生に基礎理論から先端技術までの多くの知識を習得させることによって、自ら考え、新しい分野にも果敢に挑戦できる、応用力豊かな、社会に貢献できる人材の養成を目的とする。

### [機械工学専攻]

しっかりした基礎に基づいた「ものづくり」教育を通して、創造力を発揮し、専門性を生かした安全で安心な人間らしい社会の創成に貢献できる人材の養成を目的とする。

### [ロボティクス専攻]

ロボット技術の基礎的、応用的な知識を身につけ、地球環境保護や省エネをめざしたロボットの設計・制作を通して、豊かな社会の創成に貢献できる人材の養成を目的とする。

### 【生命環境化学科の目的】

化学及び生命科学の知識と技術を身につけ、人類の福祉の向上と地球環境の保全に貢献できる創造性豊かな人材の養成を目的とする。

### [バイオ・環境科学専攻]

21世紀の人類が直面する環境、食料、エネルギー、医療、福祉などの諸問題の解決に必要な「生命科学」および「環境科学」の専門知識と技術を総合的に教授し、バイオ・食品産業、医療、農林水産、環境保全、環境評価、リサイクルなどの幅広い分野で活躍できる実践的な人材の養成を目的とする。

### [応用化学専攻]

高度な「化学」の専門知識と技術を体系的に教授し、新素材、先端材料、ナノテクノロジー、食品、医薬品、エネルギーなどの幅広い分野における急速な技術革新や変革する社会のニーズに対して、「化学」の力で貢献できる創造性豊かで国際性と主体性を併せ持つ人材の養成を目的とする。

### 【情報システム学科の目的】

情報システム工学の基礎から応用までの知識を幅広く修得させ、IT(情報技術)社会を支える新しい情報システムの創生を通して、人間性豊かな社会の創造に参加できる人材の養成を目的とする。

### [IT専攻]

コンピュータ、ネットワーク、ソフトウェア技術を駆使した幅広い視点からの情報システムの開発を通じて、快適で安全・安心な社会の創生をめざす人材の養成を目的とする。

### [電子情報専攻]

先端的なデバイス・材料、回路、通信、デジタル情報技術を活かして柔軟で幅広い展開力から、高度で高信頼な社会システム基盤の確立をめざす人材の養成を目的とする。

### 【基礎教育センターの目的】

一般共通科目及び共通基礎科目の教育を通して、人間性豊かな技術者の養成を目的とする学部教育を担うとともに、教職課程の教育も行うことを目的とする。

## 【人間社会学部の目的】

教養科目並びに専門科目(情報社会専門科目, 心理専門科目)に関する教育・研究を通して, 幅広い視野を持ち専門分野を深く探求し, 知的・道徳的に優れた能力を兼ね備えた人格を育成し, 社会の発展に貢献する人材を養成するとともに, 教職課程の教育も行うことを目的とする。

## 【情報社会学科の目的】

高度に情報化した知識基礎社会に対応できる情報リテラシーを身に付けるとともに, 学際的な学びを通して社会の変化に対応できる幅広い知識と教養を修得し, 現代社会における諸問題を様々な角度から分析・解決できる人材を育成する事を目的とする。

### (経営システム専攻)

経営, 情報, 法律, 経済, 会計, 財務などの知識を修得し, それらの知識を実際の社会事象に応用する能力や, 企業や社会組織に内在する課題を的確に設定・認識・解決してゆく能力を身につけることを目的とする。

### (メディア文化専攻)

最新の情報機器を活用しながらCG・デジタル音楽等のコンテンツ制作を行うことや, 作品の研究や文化的背景を学ぶことによってコンテンツを生み出すクリエイティブな人材を養成することを目的とする。

## 【心理学科の目的】

人間の心を科学的に解明する教育・研究を通して, 人間の心を深く理解し, 社会に貢献する人材を養成することを目的とする。

### (ビジネス心理専攻)

心理学の知識に併せて社会人として必要な心理学的技能を学び, 広く社会に貢献できる人材を養成することを目的とする。

### (臨床心理専攻)

心理学の基礎と応用の知識を習得すると共に, 多様な実習を通じて臨床心理学に関わる専門職に就く人材を養成することを目的とする。

### 3. 教育研究上の目的(大学院)

#### 【工学研究科博士前期課程】

##### 【システム工学専攻の目的】

社会的要請に対応して、高効率エネルギー変換技術、工学的見地からの人間支援技術、周辺環境への影響に関する予測技術、システムを連携する情報処理技術の高度化・総合化技術等の発展に貢献する、優れた技術者、研究者を養成することを目的とする。

##### 【電子工学専攻の目的】

量子物性、先端材料、電子・情報工学の各分野の連携により、電子工学に関する教育を通じて科学技術の発展に寄与し、時代の要求に応える優れた技術者、研究者の養成を目的とする。

##### 【応用化学専攻の目的】

環境化学、生命化学、材料化学分野における社会のニーズに応え、科学技術の進歩に柔軟に対応できる、優れた技術者、研究者を養成することを目的とする。

#### 【工学研究科博士後期課程】

##### 【システム工学専攻の目的】

工学と人間系を融合したソフトテクノロジーの目指す理念に基づき、エネルギー工学、人間支援システム工学、情報工学の各教育研究分野を核として、工学的見地からの人間支援を視野に入れた柔軟で新しい科学技術の発展に貢献し、世界に通用する技術者、研究者を養成することを目的とする。

##### 【電子工学専攻の目的】

電子工学の基礎となる物理学から電子工学全般にわたる幅広い分野を教育研究の対象とし、素材開発の基礎となる「量子物性」、それに立脚した「先端材料」の創製、電子工学の中核をなす「電子・情報工学」の3分野で構成し、時代の要求に応える優れた技術者、研究者を育成することを目的とする。

##### 【応用化学専攻の目的】

環境問題、バイオテクノロジー、新素材開発において、応用化学の果たす役割は重大であると考え、環境化学、生命化学、材料化学の3分野を設け、社会のニーズに応え、科学技術の進歩に柔軟に対応出来る、高度な研究・開発能力を身につけた、21世紀の日本を支える優れた技術者、研究者を育成することを目的とする。

#### 【人間社会研究科修士課程】

##### 【情報社会専攻の目的】

###### (情報社会システム教育研究分野)

行政知識と経営知識及び情報技術の習得を知識基盤とした行政情報システムやビジネス情報システムの創成を担う人材を養成することを目的とする。

###### (デジタル・クリエイター教育研究分野)

コンピュータ・グラフィックス、コンピュータ・ミュージック、マルチ・メディアといった最先端のスキルを基礎に、デジタル・クリエイターを養成することを目的とする。

##### 【心理学専攻の目的】

###### (実験心理学教育研究分野)

脳科学、認知科学、行動科学の3領域について深く学び、最新の研究技法を駆使して自ら研究を進めて行くことができる研究技術者を養成することを目的とする。

###### (臨床心理学教育研究分野)

臨床心理学についての専門的な知識と心理臨床にかかわる場合の姿勢を学び、高度な専門性を求められる職業人としての臨床心理士を養成することを目的とする。